

4. 持続可能なカカオ豆調達取り組み

持続可能なカカオ豆の調達に関する取り組み

カカオの持続可能な調達を実現するには、
カカオ産地における社会課題の解決が不可欠。

近年、企業はサプライチェーン全体における
気候変動、森林減少・生物多様性の毀損、人権課題(強制労働・児童労働)など
社会課題解決への取り組みが強く求められている。



カカオ産地における主な社会課題

カカオ産地での社会課題解決の根幹は、**生産者の生計維持**

社会課題 1 児童労働



社会課題 2 森林減少



「メイジ・カカオ・サポート」

健康にアイデアを

meiji

2006年より「メイジ・カカオ・サポート」世界9カ国で展開

Meiji Cocoa Support

メイジ・カカオ・サポート

- 特長** 明治独自の「カカオ農家支援活動」
- 各内容**
- ・ カカオ豆の品質向上への技術支援
 - ・ カカオ農家の生活支援、
 - ・ 地域の環境保全・回復など
- 結果** 社会課題解決により持続可能なカカオ豆生産に貢献



「メイジ・カカオ・サポート」

健康にアイデアを

meiji

カカオ産地での技術支援



発酵箱をかき混ぜる工程



ファーマートレーニング
スクールの開催



苗木センターの開設

カカオ産地での生活支援



井戸の寄贈



学校備品の寄贈



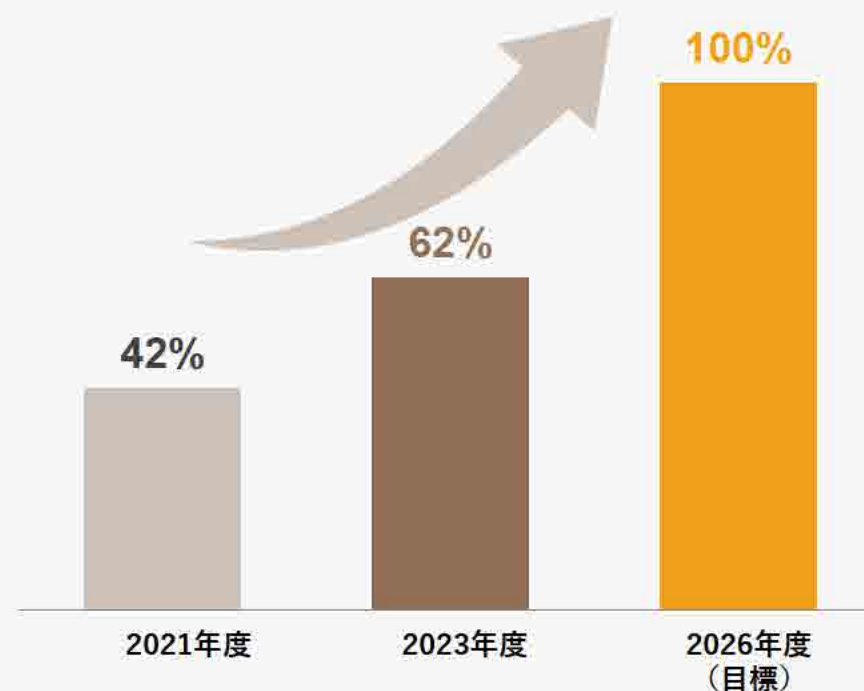
明治サステナブルカカオ豆の調達拡大

明治サステナブルカカオ豆とは…

メイジ・カカオ・サポートを通じ、
農家支援を実施した地域で
生産されたカカオ豆

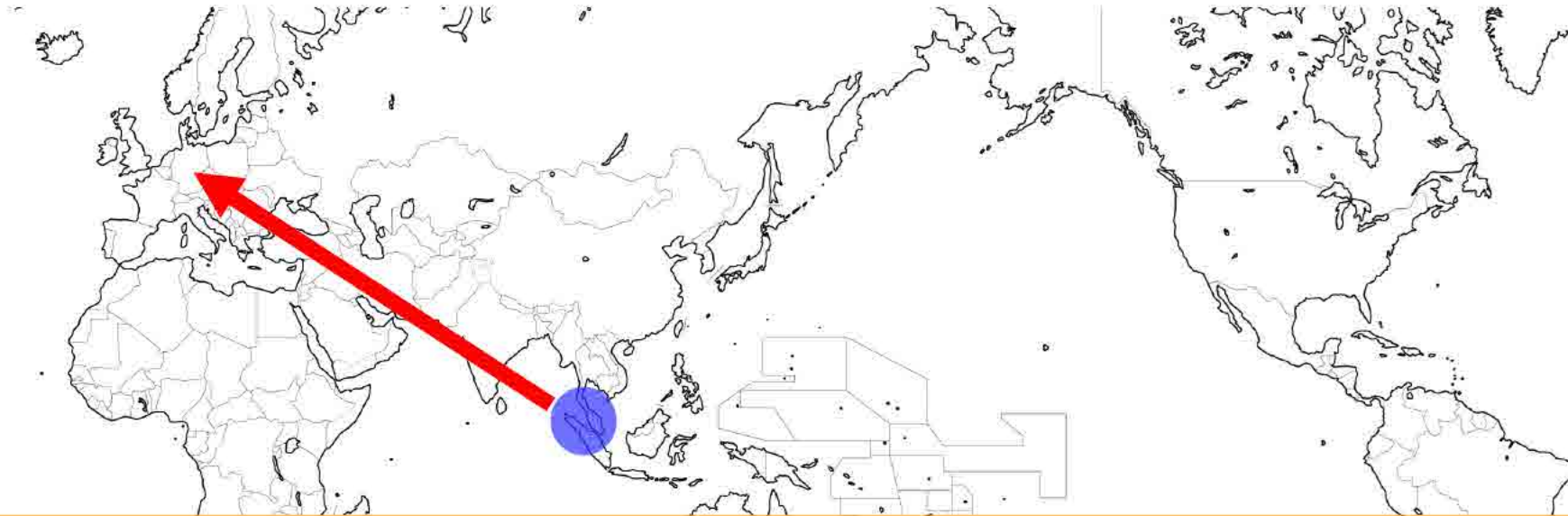


〔明治サステナブルカカオ豆調達比率推移〕



EUDRへの対応

EU域内で流通する特定のコモディティ・製品に関し、当該品目の生産において、**森林減少を引き起こしていないことの確認が必要となる。**



東南アジアのグループ会社で製造したチョコスナックをEU域内に輸出している

EUDRの対象となるか詳細確認中

EUDRへの対応

対象製品について、以下の対応が必要

✓ **デフォorestationフリー要件**

→生産地が2020年12月31日以降、森林減少・森林劣化されていない

✓ **合法性要件**

→生産国の土地利用権、環境保護、人権等の法令に違反していない

✓ **DDステートメントの提出**

→DDを実施し、生産国・地理情報などの情報、DF要件・合法性要件の根拠情報など含む文書を提出



「数量が少量」「同じ製品」「同じ生産地」であっても、
輸出ごとに対応必要

“森林減少ゼロ”に向けた取り組み

目標

すべての調達先において、GPS マッピングなどによる農園の実態把握を行い、森林の保護・回復につとめ、森林減少ゼロを目指します。

2026年度までにガーナ ▶ 2030年度までにその他の調達先

■ 森林減少の確認

現地パートナーと協働して農園を訪問し、**GPSマッピング**によるモニタリングを実施。
農園の森林保護区などへの関与を確認。

< マッピング農園数 >

- ・ **5365軒**(22年10月～23年9月)
- ・ 森林保護区に存在する農園数が**54軒**
- ・ 全てサプライチェーンから除外済



農園の境界をスマートフォンを持って歩きGPSでマッピング



農園の形にマッピングされたスマートフォンの画面

5. 森林減少に関与しないパーム油調達の取り組み

RSPO認証パーム油への切替

パーム油の生産地においては、強制労働や児童労働などの人権課題や農園の開発に起因する、森林の減少や泥炭地の破壊などの環境課題を抱えている。



2023年度にRSPO認証パーム油の調達率100%を達成

RSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil)
持続可能なパーム油のための円卓会議

- ・ パーム油を使用する国内18工場と海外5工場
RSPOサプライチェーン認証を取得
- ・ 調達している切替対象パーム油すべての
RSPO認証パーム油(MB方式※)への切り替えが完了



※MB (マスバランス) 方式について

RSPO認証パーム油が製造・流通過程で他の非認証パーム油と混合される認証モデル。

物理的には非認証油も含んでいるが、認証農園から供給された認証パーム油の数量は保証される。

森林減少に関与しないパーム油調達に向けた取り組み

明治グループのパーム油を使用した製品は、**EUDRの対象ではないという解釈**だが、社会課題解決のため森林減少防止への取り組みを進めている。将来のEUDRと類似の法規制に備えた対応にもなる。

EUDRの対象

関連 コモディティ	HSコード(※) 対象関連製品（主なもの）	補足
カカオ	1801 カカオ豆（丸ごと or 砕いたもの、生 or ローストしたもの） 1806 チョコレート および カカオを含むその他の食品	
パーム油	1207 アブラヤシの実と核 1511 パーム油およびその分別物	「パーム油を使用した製品」は記載なし
大豆	1201 大豆 1507 大豆油 2304 大豆かす	
木材	4407 木材 48 紙	包材は対象外（製品を「保護・運搬」するための梱包材としてのみ使用されるものは対象外）
牛、コーヒー、 ゴム	省略	

※HSコード：国際貿易において商品を分類するための世界共通のコード番号。関税分類番号とも呼ばれ、輸出入の際に品目を分類・識別する。

森林減少に関与しないパーム油調達に向けた取り組み

森林減少の現況把握とリスク評価を行い、リスクと評価された農園について改善活動を行う

衛星データを使用した森林減少の影響分析・モニタリング

調達先マッピング
(ミルの座標データ)

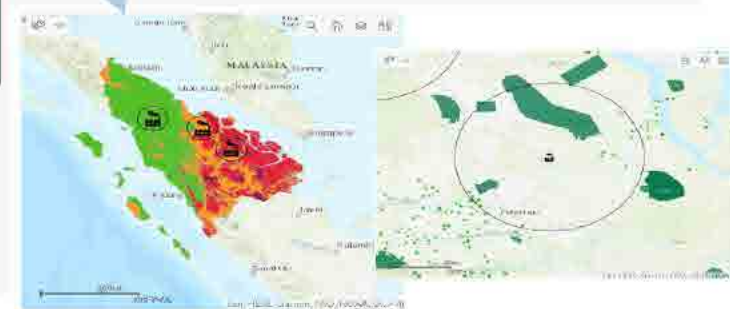
現況把握

リスク評価

※リスク評価

- ①ミルの半径50km圏内に以下が含まれているとリスク有と定義
 - ・高炭素貯蔵林、原生林
 - ・世界自然遺産 など
- ②上記リスク有地域について、森林減少等の状況を調査し生物多様性へのリスクがあれば高リスクとする。

リスクありと判断した農園の現地視察、事実確認、改善活動の実施



健康にアイデアを
meiji